

10番 平原廉清 議員

- 1 22年度末の実質公債費比率はいくらになるのか。
- 2 自主財源確保について
 - (1) 執行部は、債権特別対策室による徴収の強化を第1に上げていたが、過去5年間の回収実績を件数、金額別に教えていただきたい。
 - (2) (1) について費用対効果の観点から説明願いたい。
- 3 市税増嵩についての今後の見通しを聞く。
- 4 市職員等の給料の一律カットについて
 - (1) 22年度のカットは年額いくらか。
 - (2) いつまで続くのか。
- 5 企業誘致の観点から
 - (1) 小野田・楠の「実質80%引き」と価格の「80%引き」とは違いがあるのか。
 - (2) もしあるならば、その違いを説明願いたい。
 - (3) 総額52億円は適正価格であるか。
 - (4) 宅建業者に仲介を依頼する考えはないか。
- 6 当市から積極的に働きかけて企業誘致が実現した例があれば教えていただきたい。(合併以後)
- 7 小野田・楠の共有者である県の土地開発公社が廃止された場合、小野田・楠はどうなるのか。
- 8 小野田・楠を向こう5年間で完売するプロジェクトを立ち上げようではないか。